

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4671100180
法人名	医療法人 椎原会
事業所名	高齢者グループホーム 有馬館
訪問調査日	平成19年7月5日
評価確定日	平成19年8月3日
評価機関名	特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

〔取り組みの事実〕

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

〔取り組みを期待したい項目〕

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

〔取り組みを期待したい内容〕

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4671100180
法人名	医療法人 椎原会
事業所名	高齢者グループホーム 有馬館
所在地	南さつま市加世田地頭所570番地 (電 話) 0993-53-3667
評価機関名	特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島
所在地	鹿児島市真砂町34番1号南光ビル303号
訪問調査日	平成19年7月5日

【情報提供票より】(平成19年5月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和・平成 14年 9月 17日			
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9	人
職員数	10 人	常勤 9 人, 非常勤 1 人, 常勤換算	4.4	人

(2)建物概要

建物構造	木造
	1 階建ての 1 階 ~ 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円		その他の経費(月額)	14,000 円	
敷 金	有 (円) (無)				
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) (141,000 円) 無		有りの場合 償却の有無	有 (無)	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円	
	夕食	400 円	おやつ	円	
	または1日当たり 円				

(4)利用者の概要(5月 1日現在)

利用者人数		9 名		男性 名		女性 9 名	
要介護1		2 名		要介護2		2 名	
要介護3		3 名		要介護4		2 名	
要介護5		名		要支援2		名	
年齢	平均	87 歳		最低	78 歳		最高 94 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 椎原会 有馬病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街地の中、母体病院を中核とする複合拠点の一角に立ち、隣接のデイケア利用者との交流もあり、地域の一員として活き活きと暮らし続けるための支援が行われている。さらに、医師や看護師が同じ敷地内に常駐していることは、入居者やご家族にとっては、この上ない安心となっている。法人内の事業所や他の同業者とも情報交換しながら、サービスの質向上へ向けて積極的に取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	感染症対策については、独自の対応マニュアルを作成しており、継続的な研修受講については、介護支援専門員協議会などに参加することで、研修受講の機会を多く持てるように取り組んでいる。ホームで育てた花や野菜の苗を差し上げたり、地区の催し物に参加することを通して、地域の人達との交流を促進しており、医療福祉専門学校生のボランティアを受け入れて、ホーム機能の地域への還元に努めている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全体で自己評価に取り組み、外部評価の結果については、ミーティングを開いて改善策を話し合い、実践に向けて取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	ホームの現況や課題等について報告しており、会議で出された意見や要望については速やかに取り組む、サービス向上につなげると共にその内容を報告している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ご家族からの電話や来訪の際はもちろん、年末の家族会、運営推進会議などで、意見や要望を表出していただく機会を設けている。出された要望等は、ミーティングで話し合い運営に反映している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ご家族がそれぞれの地域で行われる敬老会と一緒に参加したり、広報から得た行事の情報をもとに、地域の活動にも参加している。

2. 評価結果(詳細)

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	これまでの理念を職員全員で見直し、地域の一員としてその人らしい生活を継続する為に支援することを織り込んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をスタッフルームに掲示し、尊厳とその人らしさを念頭に置いて日々のケアが行えるように、管理者と職員が具体的に話し合い取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ご家族がそれぞれの地域で行われる敬老会と一緒に参加したり、広報から得た行事の情報をもとに、地域の活動にも参加している。		母体の病院を中核とした複合拠点の中で、他の建物に隠れてホームの場所が分かりにくい。面会者や地域の方々ももっと気軽に訪問できるように、案内板等の設置を検討していただきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全体で自己評価に取り組み、外部評価の結果については、ミーティングを開いて改善策を話し合い、実践に向けて取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの現況や課題等について報告しており、会議で出された意見や要望については速やかに取り組む、サービス向上につなげると共にその内容を報告している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	要介護認定の更新時や、研修開催の情報収集等、市町村担当者と相談や意見交換を行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の暮らしぶりや健康状態については、ご家族の来訪時に報告しており、月に一度は金銭出納帳の確認をしていただき確認印をもらっている。定期的に「有馬館便り」を発行している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族からの電話や来訪の際はもちろん、年末の家族会、運営推進会議などで、意見や要望を表出させていただく機会を設けている。出された要望等については、ミーティングで話し合い運営に反映している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職者や入職者があった場合は、入居者やご家族へ報告し紹介をすると共に、入職者がなるべく関わる機会を多く持てるように、他の職員が配慮しながら支援を行っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の各委員会に参加することで分野ごとに研鑽する機会を得ている。外部研修へ参加した職員は、持ち帰りミーティング内で報告している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム協議会に参加しており、同業者との交流を持つことで、サービスの質の向上に活かしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者ごとの個別シートを使って、ご家族から生活暦を細かく聞き取り、生活に大きな変化を与えることのないように取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	味噌作りの工程や畑仕事において、入居者からの知恵や経験を教えてもらう機会を設けている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思疎通の困難な方からは、行動や感情表出を細かく観察し、思いや意向の把握に努めると共に、記録に残して全職員が周知できるよう取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人やご家族の意見や気づきを聞き取り、関係者で意見交換やモニタリングを行い介護計画を作成しているが、聴取した意見等が経過記録や計画書に記載されていない。	○	計画作成のプロセスを明確にするためにも、本人やご家族から聴取した意見や思いを、経過記録や介護計画書に具体的に記録することが望まれる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的及び入居者の状態変化に応じて本人やご家族と話し合い、介護計画の見直しを行っているが、本人やご家族の意見等が経過記録や計画書に記載されていない。	○	計画見直しのプロセスを明確にするためにも、本人やご家族から聴取した意見や思いを、経過記録や介護計画書に具体的に記録することが望まれる。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人内の訪問看護との連携により定期的に訪問を受けており、状態変化の際はすぐに対応できるシステムとなっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族が希望するかかりつけ医を受診できるようにしており、基本的にはご家族同行の受診となっているが、不可能な場合は職員が同行するなど、柔軟な対応をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人内の訪問看護師とご家族を交えて話し合いを行い、十分に納得を得た上で、看取りに関する指針を説明し同意を得ている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	失禁時の更衣の声かけ等、それぞれの対応方法について、職員間で話し合い、プライバシー保護に心がけた支援の徹底を図っており、採用時の研修でも守秘義務と尊厳についての教育を実施している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の気持ちを尊重して、趣味や特技を活かして、したいことを実施できるように、なるべく制約を設けずに支援している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物・調理・後片付けを職員と共に行い、同じダイニングルームで一緒に食事しながら、穏やかな雰囲気作りに努めている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は一日おきと決まっているが、希望や状態に応じて、いつでも入浴できるようになっており、個別浴を基本として羞恥心への配慮もなされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの経験と力量を踏まえた上で、花活けや農作業・調理・その他行事の際に、力を発揮してもらえるように支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご家族との外出の他、買い物やドライブ・散歩など、戸外に出かける機会をつくり、一人ひとりに合わせた移動方法に配慮をしながら支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけることなく、自由に出入りできるようにしており、外出されるような場合は、それを察知し、引き止めることなくそっと付いて行き、見守りを行いながら自由な暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人が実施する避難訓練に参加しており、地域の方々による応援について、区長や民生委員に働きかけているが、ホーム単独での避難訓練は行っていない。	○	ホーム内での火災発生や夜間を想定しての避難訓練、及び水害等についても、具体的な支援体制や環境整備について、具体的に検討していただきたい。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分摂取量の目安を決め、食事・水分の摂取量をチェック表に記載している。制限のある入居者については、イン・アウトのチェックを行いながら、摂取量の把握に努めている。		栄養士資格者も在籍しているので、栄養バランスを含めて、食事について更に質の高い支援が期待される。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花々を飾り、キッチンから聞こえる調理の音や料理の匂いなど、五感を刺激し季節感を味わえるような工夫が見られる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、入居者の馴染みの家具や位牌・写真・装飾品などが持ち込まれ、居心地良く過ごせるような配慮がなされている。		